

CentreCOM® LA100-PCI-T

インストールマニュアル NetWare 5 アライドテレシス(株)

本書は、CentreCOM LA100-PCI-T LANアダプターのドライバーをNetWare 5のサーバ、MS-DOSクライアントにインストールする手順を説明したものです。詳細は、ドライバーディスクに収録されている「¥netware.386¥readme.srv」¥netware.dos¥readme.odi」をご覧ください。

1 ドライブ名

以下の説明では、インストールの対象となるコンピュータが「AT互換機」の場合は、CD-ROMドライブ「D:」、フロッピーディスクドライブ「A:」、MS-DOSがインストールされているハードディスクドライブ「C:」を仮定します。

また、「PC-9800/PC-9821」の場合は、CD-ROMドライブ「Q:」、フロッピーディスクドライブ「B:」、MS-DOSがインストールされているハードディスクドライブ「A:」と仮定します。

必ずしも、この通りではありません。実際にご使用のコンピュータでご確認になり、ドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものに読み替えてください。

2 サーバドライバーのインストール

2.1 サーバのインストールと共に

- (1) コンピュータの電源を切った状態で、本製品をコンピュータのPCIスロットに取り付けてください。
- (2) コンピュータに電源を入れ、NetWare 5のインストールを開始します。
- (3) インストールの途中で本製品が自動的に検出され、「次のデバイスドライバがこのサーバ用に検出されました」という旨の表示がされます。「デバイスタイプ」の画面の「オプション」で「変更」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (4) 「ネットワークボード」の「ドライブ名」で「DC21X4」を選択し、「Enter」キーを押します。
- (5) 「ネットワークボードドライバを追加、編集または削除します。…」が表示されます。「Del」キーを押して「DC21X4」を削

除し、「Ins」キーを押してください。

- (6) ネットワークボードとドライバーの一覧が表示されますので、「Ins」キーを押してください。
- (7) 「F3」キーを押してください。「ディレクトリパスを指定してください」の表示がされます。ドライバーディスクを挿入したフロッピーディスクドライブのパスを入力し、「Enter」キーを押してください。サーバドライバーの検索が始まります。

A:¥netware.386¥nw500
- (8) 「インストールするドライバの選択」で「CentreCOM LA100-PCI-T Adapter driver」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (9) 「アダプタLA100_1(ドライバLA100)オプション」の「ドライバプロパティの変更」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (10) 「LA100_1プロパティ」でお客さまがご使用になる環境に合わせて、設定を行ってください。不明な場合は、システム管理者に相談してください。「ポートアドレス」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (11) 設定が終わったら、「ドライバリストに戻る」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (12) 「追加ネットワークドライバを選択しますか?」に対して、通常は「No」を選択し、「Enter」キーを押してください。

「ネットワークボードドライバを追加、編集または削除します。…」が表示されますので、「追加ドライバオプション」で通常は、「ドライバサマリに戻る」を選択し、「Enter」キーを押してください。

- (14) 「次のデバイスドライバがこのサーバ用に検出されました。」の表示がされます。「ネットワークボード」のドライバー名が「LA100」であることを確認し、「オプション」で「続行」を選択し、「Enter」キーを押してください。ドライバーがインストールされます。

(15) ここまでで、本ドライバーのインストールは終了です。引き続きサーバのインストールを行ってください。

2.2 サーバのインストール後に

まず、本製品がコンピュータに組み込まれているかどうかの確認をしてください。組み込まれていない場合は、NetWare 5サーバを終了し、コンピュータ本体の電源を切った上で組み込み作業を行ってください。本製品の組み込みが完了したら、サーバを起動します。

- (1) 本製品を組み込んでコンピュータを起動すると、「DC21X4」が自動的にインストールされます。
- (2) 「DC21X4」のインストールが終わったら、「System コンソール」で、「NWconfig」を実行し、「NetWare環境設定」を起動します。
- (3) 「環境設定オプション」の画面で、「ドライバオプション」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (4) 「ドライバオプション」の画面で、「ネットワークドライバの設定」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (5) 「追加ドライバに対する操作」の画面で、「選択したドライバの選択解除」を選択し、起動時にインストールされた「DC21X4」を選択して、「Enter」キーを押してください。次に「ドライバの選択」を選択し、「Enter」キーを押すと、「ドライバの選択」が表示されます。
- (6) 「Ins」キーを押し、「インストールするドライバを捜すために・・・」の画面で、「F3」キーを押してください。
- (7) 「ディレクトリパスを指定してください」でドライバディスクを挿入したフロッピーディスクドライブのパスを入力し、「Enter」キーを押してください。本製品のドライバーが検索されます。

```
A: ¥netware.386¥nw500
```
- (8) 「インストールするドライバの選択」に、「LA100.LAN CentreCOM LA100-PCI-T Adapter driver」が表示されますので、これを選択し、「Enter」キーを押してください。
- (9) 「ドライバLA100.LANをコピーしますか?」という表示がでます。「Yes」を選択し、「Enter」キーを押します。プロトコルおよびパラメータをお客さまの使用する環境に合わせて入力してください。不明な場合は、システム管理者に相談してください。入力が終了したら、「ボードLA100_1(ドライバLA100)に対する操作」で、「パラメータを保存し、ドライバをロード」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (10) 「追加のネットワークドライバを選択しますか?」という表示が出ます。通常は「NO」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (11) 「追加するドライバに対する操作」の画面で、「前のメニュー

に戻る」を選択し、「Enter」キーを押してください。

- (12) 「ドライバオプション」の画面で、「前のメニューに戻る」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (13) 「環境設定オプション」の画面で、「終了」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (14) 「nwconfigを終了しますか?」の表示がでますので、「Yes」を選択し、「Enter」キーを押してください。
- (15) 「Systemコンソール」に戻ります。これでドライバーのインストールは終了です。

3 MS-DOS クライアントドライバーのインストール

DOS環境に対してNetWare 5のCD-ROMからインストールする例を説明します。その他の場合は、NetWareのマニュアルをご覧ください。

3.1 16ビットクライアントドライバー

- (1) NetWare 5のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、INSTALL.BATコマンドを入力します。

AT 互換機

```
C: ¥>d:  
D: ¥>install dosv
```

PC-9800/PC-9821

```
A: ¥>q:  
Q: ¥>install pc98
```

- (2) ライセンスに関する表示がされます。契約内容に同意し、インストールを続行する場合は「ENTER」キーを押します。
- (3) インストールするオプションを選択します。ここでは、「Novell Client for DOS」を選択した場合を説明します。選択終了後、「F10」キーを押します。
- (4) LANドライバータイプの選択画面が表示されます。「16ビットLANドライバ」を選択し「Enter」キーを押してください。
- (5) 「16ビットLANドライバ」の一覧が表示されます。「USER SPECIFIED 16-BIT DRIVER」を選択し「Enter」キーを押してください。
- (6) 「ドライバディスクの挿入」画面が表示されます。パスとして「A:¥NETWORK.DOS¥NW500」を指定してください(AT 互換機の場合)。
- (7) 「CentreCOM LA100-PCI」を選択し、「Enter」キーを押します。
- (8) 「CentreCOM LA100-PCI-Tの設定」画面が表示されます。お客

さまの環境にあった選択を行い、F10キーを押してください
詳しくは、お客さまの環境におけるシステム管理者にご相談
ください。

•Media Frame Type(s)

使用するフレームタイプを設定します。「Frame
ETHERNET_802.3」は、NetWare 3.11J以前のものにおいてデ
フォルトで使用されるフレームです。「Frame
ETHERNET_802.2」は、NetWare 5/4.1xJ/3.12Jにおいてデフォ
ルトで使用されるフレームです。

•Optional Node Address

お使いの環境によって、Node Addressを独自に設定する必要
がある場合に入力します。通常ここはなにも設定せず、空欄
のままとしてください。

- (9) 「インストール環境設定の要約」画面が表示されます。設定内
容を確認しF10キーを押してください。ファイルのコピーが
開始され、インストールが終了します。
- (10) コピー終了後、再起動するように指示されますので、フロッ
ピーディスクドライブから、ドライバーディスクを抜き、再
起動します。以上でNetWare 5クライアントのドライバーの
インストールは終了です。

3.2 インストール結果

NetWare 5.0クライアント、LA100-PCIドライバーのインストール
が終了すると、C:\%NOVELL%\CLIENT32(デフォルト)に必要な
ファイルがコピーされ、STARTNET.BAT、NET.CFGが作成されま
す。また、AUTOEXEC.BATにSTARTNET.BATの記述とSET TZ=
の記述が追加されます。

INSTALL.BATに対してデフォルト値を指定して作成されたAT互
換機/PC98-NXにおける、STARTNET.BAT、NET.CFGの例を下記
に示します。PC-9800/PC-9821の場合は、STARTNET.BATにおい
てドライブ名が「A:」となります。また、NET.CFGにおいて「SHORT
MACHINE TYPE」が「PC98」、「LONG MACHINE TYPE」が
「NEC_PC」となります。

弊社 CentreNET PC/TCPを使用する場合は、エディタでNET.CFG
を編集し、「Link Driver LA100」セクションにフレームタイプ
(Frame ETHERNET_II)やプロトコル(Protocol IP 0800
ETHERNET_II、Protocol ARP 0806 ETHERNET_II)の追加を行っ
てください(記述例は「%netware.dos%\nw500%net.cfg」をご覧ください)。

STARTNET.BAT(16ビットLAN ドライバー)

```
SET NWLANGUAGE=NIHONGO
C:\%NOVELL%\CLIENT32\NIOS.EXE
LOAD C:\%NOVELL%\CLIENT32\NBIC32.NLM
C:\%NOVELL%\CLIENT32\LSL.COM
C:\%NOVELL%\CLIENT32\N16ODI.COM
C:\%NOVELL%\CLIENT32\NESL.COM
C:\%NOVELL%\CLIENT32\LA100.COM
```

```
LOAD C:\%NOVELL%\CLIENT32\LSLC32.NLM
LOAD C:\%NOVELL%\CLIENT32\PC32MLID.LAN
LOAD C:\%NOVELL%\CLIENT32\TRANNTA.NLM
LOAD C:\%NOVELL%\CLIENT32\IPX.NLM
LOAD C:\%NOVELL%\CLIENT32\SPX_SKTS.NLM
LOAD C:\%NOVELL%\CLIENT32\CLIENT32.NLM
```

NET.CFG(16ビットLAN ドライバー)

```
Link Driver LA100
FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester
FIRST NETWORK DRIVE F
NETWARE PROTOCOL NDS BIND
SHORT MACHINE TYPE DOSV
LONG MACHINE TYPE IBM_PC
RESOLVE NAME USING PRIMARY OFF

NIOS
LINE DRAW CHARS " "
```

Protocol IPX
IPX SOCKETS 40

I/Oアドレス、インタラプトレベルの記述

NET.CFGの中でI/Oアドレス、インタラプトレベルの数値を記述
する必要はありません。I/Oアドレス、インタラプトレベルは、コ
ンピュータによって自動的に設定され、管理されます。

メディアに関する記述

NET.CFGの「Link Driver LA100」セクションには、回線速度、全二
重/半二重(FULL/HALF DUPLEX)に関して、以下の3種類のパラ
メータを記述することができます。

- LINE_SPEED 100
アダプタの回線速度を設定します。引数として、回線速度を
指定します。「100」を指定すると100Mbps、「10」を指定する
と10Mbpsとなります。
- TP_FULL_DUPLEX
全二重モードに設定します。引数は取りません。
- TP
半二重モードに設定します。引数は取りません。

これらのパラメータは、必ず下記の5通りの組み合わせで記述し
なければなりません。

- (1) LINE_SPEED 100
TP_FULL_DUPLEX
- (2) LINE_SPEED 100
TP

- (3) LINE_SPEED 10
TP_FULL_DUPLEX
- (4) LINE_SPEED 10
TP
- (5) これらのパラメータを全く記述しない。
この場合、Auto Negotiationを有効(Enable)に設定します。接続されている対向装置(ハブまたはスイッチ)がAuto Negotiationをサポートしている場合、可能な最高の速度となります。しかし、対向装置がAuto Negotiationをサポートしていない場合、通信速度のみ自動的に検出し、検出された速度の半2重モードとなります。対向装置がAuto Negotiationをサポートしていないが、100Mbpsの全2重モードをサポートしている場合、最高の通信速度を得るためには「LINE_SPEED 100 TP_FULL_DUPLEX」を指定しなければなりません。

(例1)100Mbpsの全2重モード

```
Link Driver LA100
    FRAME Ethernet_802.2
    LINE_SPEED 100
    TP_FULL_DUPLEX
```

(例2)10Mbpsの半2重モード

```
Link Driver LA100
    FRAME Ethernet_802.2
    LINE_SPEED 10
    TP
```



ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1999 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novellの登録商標です。
PC/TCPは米国FTP Software, Inc.の登録商標です。
Windows、WindowsNT、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1999年06月14日 Rev.A 初版